

「運動プログラム」を作成しています!!

～小学校低学年児童の運動実施時間増加を目指して～

楽しみながら取り組める運動プログラム

- ◆小学校低学年児童が、跳ねる・投げる等の基本動作を、楽しみながら身に付けることができるよう、数種類の運動を組み合わせて構成しています。
- ◆弘前大学と共同で6種類の運動プログラムを作成しており、どれも10分程度の運動なので、体力向上の時間や授業の隙間等に、手軽に楽しく取り組みます。
- ◆家庭でも取り組めるよう、YouTubeでも公開予定です。



本県児童生徒の現状

- ◆本県児童生徒の体力及び肥満の状況は、10年前と比べると改善傾向にあるものの、全国平均とは依然として差があります。
- ◆体力を保持増進するとともに、肥満を予防するためには、運動習慣の定着を図ることが大切です。しかし、本県の小学校低学年の子どもたちは、体育を除く1日の運動実施時間が30分未満の割合が高く、運動実施時間の増加が望まれています。
- ◆県教育委員会では、子どもたちが自ら進んで運動に親しむ資質や能力を身に付けることができるよう、楽しみながら運動に取り組む時間を増やしていきたいと考えています。

【6つのプログラム】

- | ＜教室用＞ | ＜広い場所用＞ |
|-----------|---------|
| ①教室エクササイズ | ④ダイナミック |
| ②その場でスポーツ | ⑤いきものまね |
| ③ボールであそぼう | ⑥ボールあそび |



指導用DVD・ガイドブック

令和4年3月に、各小学校へ運動プログラムを収録した指導用DVDとガイドブックを配布する予定です。

昨年配布している「運動遊びチャレンジカード」と併せて活用し、楽しみながら運動する習慣を身に付けましょう!



問 スポーツ健康課 体育・健康グループ TEL.017-734-9907

教育広報 あおもりけん

2022.2 Vol.64

令和4年2月発行
編集・発行 青森県教育庁教育政策課
〒030-8540 青森市長町1丁目1番1号
TEL.017-734-9868

北海道・北東北の縄文遺跡群
— JOMON JAPAN —
<https://jomon-japan.jp>

青森県教育委員会ホームページアドレス ⇒ <https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-seisaku/main.html>

令和2年度 いじめ防止標語コンクール

優秀賞作品 **言葉遣い 少しかえれば みな笑顔**

優秀賞は6作品あり、毎号紹介しています
青森県立八戸中央高等学校
1年 佐藤 瑠星
(※受賞当時の学校と学年です)

地域と学校がパートナーとして取り組む、地域学校協働活動の推進

～学校を核とした地域づくりに向けて～

地域学校協働活動とは?

地域学校協働活動とは、地域住民、学生、保護者、民間企業等の幅広い参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。
県教育委員会では、令和2年度から「学校を核とした地域づくり推進事業」を実施し、地域と学校が連携・協働した取組を支援しています。

地域学校協働本部構築モデル事業

地域学校協働本部とは、幅広い層の地域住民や団体等が参画し、緩やかなネットワークを形成することにより、地域学校協働活動を推進する体制のことです。県教育委員会では、今後地域学校協働本部を整備する市町村のモデルとなる本部を構築する事業を、4つの市町村で実施しています。
＜モデル市町村：黒石市、むつ市、鶴田町、風間浦村＞

鶴田町の取組を紹介します

【地域学校協働活動運営委員会】

鶴田町では、地域と学校が連携して、子どもたちが夢に向かって生き抜く力と学力を育むことを目的として、令和2年度に地域学校協働本部を整備しました。
学校教育・社会教育関係者等がメンバーとなる運営委員会では、地域学校協働活動の企画及び推進とその評価を行います。
運営委員会で話し合った内容が、地域学校協働活動の実践につながっています。



【鶴田町立鶴田小学校5学年 総合的な学習の時間】

鶴田小学校では、年間を通して3班(①野菜栽培、②りんご栽培、③獅子舞体験)に分かれて学習活動を行っており、どの班も地域の方が講師となって児童を指導しています。
学校と地域のコーディネート役は、地域住民でもある「地域学校協働活動推進員」が担っています。講師からは「子どもたちの笑顔が活動の源」との声もあり、こうした取組は、学びの深まりだけでなく、地域づくりにもつながる活動となっています。



- ①野菜栽培(大根の収穫体験)
農家の方からコツを教わり大根を収穫しました。途中で大根が折れてしまうこともありましたが、収穫する喜びを大いに味わいました。収穫した大根は給食の食材や調理実習に使用します。
- ②りんご栽培(りんごもぎ体験)
実すぐりや葉取り体験をしてきた愛着のあるりんごを大切に収穫しました。講師から仕事のやりがいや苦労などについて話を聞きながら、これまでの活動を振り返り、地域の産業への理解を深めました。
- ③獅子舞体験
西中野地区の伝統芸能であり、旧富士見小学校で取り組んできた獅子舞の体験を継続しています。西中野獅子舞保存会会長が指導にあたり、活動の成果は3学期の参観日に保護者に披露します。

地域と学校のコラボレーション研修

教員や地域学校協働活動推進員等、子どもたちの成長を支える多様な立場の方が、地域と学校をつなぐために必要なコーディネート力等について学ぶ研修会を、県内6地区で開催しました。
下北地区では、NPO法人スクール・アドバイズ・ネットワーク事務局長の井上尚子氏を講師に迎え、「地域とともにある学校づくり～これからの地域学校協働活動を考えよう～」をテーマに講義・演習を行いました。
演習では、立場の異なる参加者がグループになって、地域学校協働活動を活性化する方策を探りました。



地域との連携を担う教職員研修

学校が地域と連携・協働する必要性や地域連携を担う教員としての役割について学ぶ研修会を、県内6地区で開催しました。
東青地区では、福島県本宮市立本宮まゆみ小学校校長の安齋宏之氏を講師に迎え、「学校課題の解決と『社会に開かれた教育課程』の実現」と題して講義を行いました。
参加者は、地域学校協働活動を充実させるためには、地域と学校が目標を共有することが大切だということを再認識しました。



問 生涯学習課 地域連携推進グループ TEL.017-734-9890

お知らせ

県教育委員会では、より良い紙面づくりのため、皆様からのご意見、ご感想、ご要望をお待ちしております。
県教育庁教育政策課情報広報グループ広報担当(TEL.017-734-9868)までご連絡ください。

青森県立郷土館からのお知らせ

- ◆土曜セミナー
郷土の歴史や文化、自然などについて、専門家が楽しくわかりやすくお話しする講座です。受講料は無料で、どなたでも受講できます。
なお、当セミナーは「あおもり県民カレッジ」の単位取得講座(1回2単位)です。
- ◇第9回
○日 時/令和4年3月12日(土) 13:30～15:00
○場 所/青森県総合社会教育センター 2階 第5研修室
○テーマ/新資料による戦後の青森ねぶた
○講 師/青森県立郷土館ゲストキュレーター 成田 敏 氏
○受 付/当日会場にて13:00から受付開始
○定 員/30人(先着順)
- ◇第10回
○日 時/令和4年3月19日(土) 13:30～15:00
○場 所/青森県総合社会教育センター 2階 第5研修室
○テーマ/世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」
○講 師/青森県立郷土館ゲストキュレーター 町田 工 氏
○受 付/当日会場にて13:00から受付開始
○定 員/30人(先着順)

問 青森県立郷土館 TEL.017-777-1585
<https://www.kyodokan.com>

青森県総合社会教育センターからのお知らせ

- ◆あおもり子育てネット
～令和3年度 家庭教育支援の新作動画をアップしました～
「子どもの態度に「ムッ」としたら・・・」
「思春期の子どもへの接し方は・・・」
親が直面する悩みに、ヒントとなる動画を今年度も6本制作しました。
どれも5分で見終わる、コンパクトムービーです。
「あおもり子育てネット」で検索、または右記2次元コードからアクセスして、ご覧ください。

問 青森県総合社会教育センター TEL.017-739-1270
<https://www.alis.pref.aomori.lg.jp/>

青森県立図書館からのお知らせ

- ◆おはなし会
読み聞かせボランティアと図書館職員による絵本の読み聞かせや、子供たちからリクエストのあった絵本の紹介を行います。

問 青森県立図書館 TEL.017-739-4211
<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/>

青森県近代文学館からのお知らせ

- ◆企画展「『座標』に集った人々展」
「座標」は昭和5年に青森で創刊された文芸雑誌です。企画展では「座標」に作品を寄せた竹内俊吉、淡谷悠蔵、太宰治らの活躍を紹介します。希望者には個別に展示の見どころをナビゲーションしますので、ぜひお越しください!

問 青森県近代文学館 TEL.017-739-2575
<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/>

三内丸山遺跡センターからのお知らせ

- ◆令和3年度企画展「縄文人と数」
○会 期/令和4年4月3日(日)まで
※ただし2月28日(月)までの期間とその他休館日を除く
- 観覧時間/9:00～17:00(最終入館は16:30まで)
- 会 場/三内丸山遺跡センター 企画展示室
- 観 覧 料/一般410円、高校生・大学生200円、中学生以下は無料。
(遺跡を含む常設展の観覧料で見学可能)
※詳細は三内丸山遺跡HPをご覧ください。

問 三内丸山遺跡センター TEL.017-766-8282
<https://sannaimaruyama.pref.aomori.jp/>

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の中止・延期又は事業内容を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

令和3年度「全国学力・学習状況調査」・「学習状況調査」の結果をお知らせします

文部科学省「全国学力・学習状況調査」

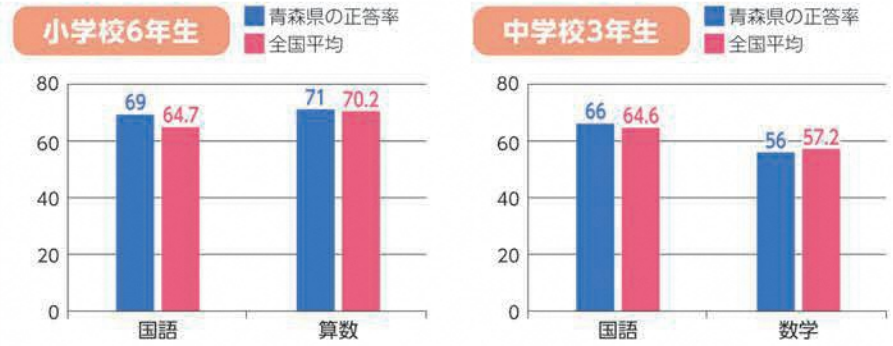
令和3年5月27日(木)実施

小学校6年生は国語・算数、中学校3年生は国語・数学の2教科で調査を実施しました。さらに学習意欲や学習方法等について、児童生徒や学校に尋ねる質問紙調査も行いました。



今回の調査結果では、本県の児童生徒はすべての教科において、平均正答率が全国平均を上回るか、同程度であり、概ね良好な状況でした。

この結果は、児童・生徒が主体的に学習に取り組んできたこと、そして、各学校が積極的な授業改善やきめ細かな指導を積み重ね、新型コロナウイルス感染症の影響下においても、児童・生徒の心身の状態や学習の状況の把握に努めてきたこと等が反映されたものと考えられます。



※文部科学省では、全国平均を小数点第一位までの数値で、各都道府県の正答率を整数値で公表しています。

県教育委員会「学習状況調査」

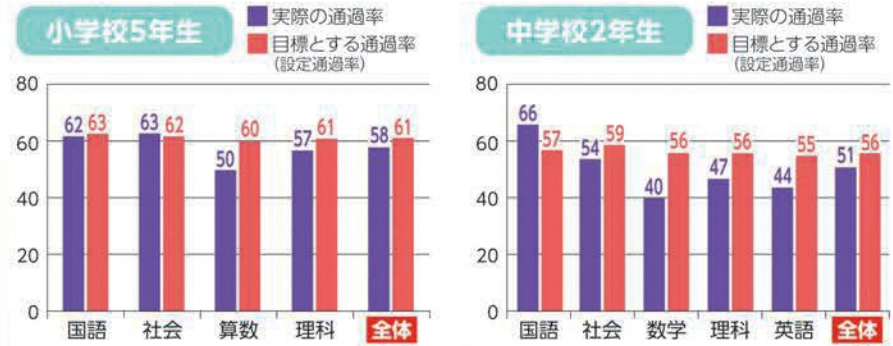
令和3年8月25日(水)実施

小学校5年生は国語・社会・算数・理科の4教科、中学校2年生は国語・社会・数学・理科・英語の5教科で調査を実施しました。

今年度は、学習指導要領の全面実施に伴い、評価の観点も整理されたことから、学習指導要領が示す「知識及び技能を問う問題」と「思考力、判断力、表現力等を問う問題」を出題しました。

今回の調査結果では、本県の小学校5年生、中学校2年生の学力は、教科や内容によって成果や課題はあるものの、教科全体の通過率が設定通過率と同程度であり、概ね良好な状況でした。

これは、各学校において指導方法等の工夫改善に継続して取り組んできたことが表れたものと捉えています。



※この調査においては、採点基準を基に各学校が正答とした児童生徒の割合を通過率として示しています。

家庭学習への取組については、県教育委員会HPで「青森県小・中学生の学ぶ意欲を高めるために～家庭で取り組む4つのポイント～」をご覧ください。

問 学校教育課 小中学校指導グループ TEL.017-734-9895

小学生が地域の文化財について学びます！

～小学生による縄文遺跡と地域の文化財体験事業～

令和3年7月に北海道・北東北の縄文遺跡群が世界文化遺産に登録されて注目が集まる中、県教育委員会では、小学生が縄文遺跡をはじめとする地域の文化財について、学習・体験活動を行う「小学生による縄文遺跡と地域の文化財体験事業」を実施しています。本事業を通じて、子どもたちに地域の文化財の価値や魅力を知ってもらうとともに、将来的に文化財の保存・活用に関わる人材の育成につなげていきます。

※人は青森県にとっての「財(たから)」であることを基本的な考え方としており、「人材」を「人材」と表記しています。

学習・体験プログラム検討会議の開催

関係小学校、関係市町教育委員会、文化財関係団体等が参加し、縄文遺跡群をはじめとする地域の文化財について、授業で活用できる学習・体験プログラムの作成に向け検討しました。(計4回)

地域の文化財に関する講座の開催

今年度は、地域の文化財に触れるための講座を開催しました。



取組スケジュール

県内6小学校を2つのグループに分け、講座や学習・体験活動を実施します。

R3	<ul style="list-style-type: none"> ●学習・体験プログラム検討会議の開催 ★地域の文化財に関する講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・外ヶ浜町立三殿小学校 ・弘前市立西小学校 ・七戸町立天間林小学校
R4	<ul style="list-style-type: none"> ★地域の文化財に関する講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・つがる市立森田小学校 ・むつ市立大湊小学校 ・階上町立道仏小学校 ★地域の文化財に関する学習・体験活動 <ul style="list-style-type: none"> ・上記Aの小学校
R5	<ul style="list-style-type: none"> ★地域の文化財に関する学習・体験活動 <ul style="list-style-type: none"> ・上記Bの小学校 ●学習・体験プログラム集の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・県内6小学校の活動内容をまとめます。

問 文化財保護課 文化財グループ TEL.017-734-9920

専門高校等の学びの祭典
第32回全国産業教育フェア青森大会
令和4年10/15(土)16(日)開催
マエダアリーナ、アピオおもり、東奥学園高校、浜町埠頭、青森県武道館

さんフェア青森2022

響かせよう産業の音色 ～縄文の風吹く青森で～ <https://sanfair2022.asn.ed.jp>

全国産業教育フェアとは

農業・工業・商業・水産・家庭・情報・看護・福祉・総合学科・特別支援で産業教育を学ぶ高校生の日頃の学習成果を発表する全国大会です。平成3年から都道府県持ち回りで開催されており、令和4年には本県で初めて開催されます。

青森大会では全国の専門高校等による発表や展示の他、本県の公立私立の関係校35校が日頃の学習成果をアピールするとともに、県内企業と連携して企業の魅力を紹介する展示や、その仕事の体験ができる「県内企業魅力体験」、主に小・中学生を対象とした専門教科の体験やわくわく子ども商人などが見どころとなっております。

現在24名の生徒実行委員会を中心に「青森らしい」大会となるよう準備を進めておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。



三内丸山遺跡をオンラインでPRする生徒実行委員会

会場	10/15(土)							10/16(日)						
	9	10	11	12	13	14	15	9	10	11	12	13	14	15
メインアリーナ				作品展示(体験含む)、展示販売(県内) 県内企業魅力体験				作品展示(体験含む)、展示販売(県内) 県内企業魅力体験						
サブアリーナ				参加・交流イベント				参加・交流イベント						
エントランス				意見・体験発表				意見・体験発表						
2階ホール				文部科学省事業発表会【発表】				文部科学省事業発表会【発表】						
2階ホール				文部科学省事業発表会【展示】				文部科学省事業発表会【展示】						
2階ホール				全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト				全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト						
2階ホール				わくわく子ども商人(商業部) 展示販売(県外)				わくわく子ども商人(商業部) 展示販売(県外)						
2階ホール				企業・大学・専門学校等ブース出展				企業・大学・専門学校等ブース出展						
2階ホール				高校生カレッジ、作品展示、展示販売 技能決定戦(特別支援部)				高校生カレッジ、作品展示、展示販売 技能決定戦(特別支援部)						
2階ホール				わくわく水族館(水産部)				わくわく水族館(水産部)						
アピオおもり				全国高校生クッキングコンテスト(新メニュー)				全国高校生クッキングコンテスト(新メニュー)						
東奥学園高等学校				事前説明会				全国高校生介護技術コンテスト(福祉部)						
浜町埠頭				実習船青森丸 一般公開(水産部)				実習船青森丸 一般公開(水産部)						
アップルパレス青森				全国産業教育振興大会				全国高校生ロボット競技大会(工業・情報部)						
弘前市				全国高等学校ロボット競技大会(工業・情報部)				全国高等学校ロボット競技大会(工業・情報部)						
青森県武道館				開会式				開会式						

※写真はR3プレ大会の様子です。

問 第32回全国産業教育フェア青森大会準備委員会事務局本部(学校教育課内) TEL.017-734-9122 FAX.017-734-8270 メール:sanfair2022@asn.ed.jp

あおもりの中学生・高校生による「大切なあなたへ薦める青春の一冊」

県教育委員会では、中学生・高校生の皆さんにより本に親しんでもらうために、仲間や友達などにすすめたい本の紹介文を募集しました。今年度応募があった4,523点の中から、最優秀賞、優秀賞が決定しました。受賞作品は、県教育委員会ホームページに掲載されていますので、ぜひご覧ください。

中学生の部

最優秀賞

「人生に、上下も勝ち負けありません 精神科医が教える老子の言葉」(野村 総一郎/著) 青森市立筒井中学校2年 平間 音羽

優秀賞

「レインツリーの国」(有川 浩/著) 青森市立南中学校3年 福士 舞
「ライオンのおやつ」(小川 糸/著) 青森市立南中学校3年 田村 望桜
「+1cm(プラスイッセンチ) たった1cmの差があなたの世界をがらりと変える」(キム・ウンジュ/著 ヤン・ヒョンジョン/イラスト 築田 順子/訳) むつ市立田名部中学校3年 中 美 姫咲

優秀賞

「きみの友だち」(重松 清/著) むつ市立田名部中学校3年 宮本 藍瑠
「青の数学」(王城 夕紀/著) 八戸聖ウルスラ学院中学校3年 関野 天音

高校生の部

最優秀賞

「星やどりの声」(朝井 リョウ/著) 県立青森工業高等学校1年 猪股 玲奈

優秀賞

「夏の庭 The Friends」(湯本 香樹実/著) 県立青森東高等学校2年 山田 愛菜
「レインツリーの国」(有川 浩/著) 県立青森聖学校高等部3年 三上 真輝
「海の見える理髪店」(荻原 浩/著) 県立五所川原工科大学高等学校1年 平沢 さなえ
「か」「く」「し」「ご」「と」「」(住野 よる/著) 県立八戸商業高等学校1年 高畑 友希
「今こそ栄光への架け橋を それでもオリンピックは素晴らしい!」(刈屋 富士雄/著) 向陵高等学校3年 栗橋 美妃

いじめ防止 標語コンクール

受賞作品が決定しました!

いじめ防止標語コンクール

令和3年度いじめ防止標語コンクールには、7,496点の応募がありました。審査の結果、以下の作品が優秀作品に決定しました。今後、優秀作品をもとにしたCMを制作し、3月下旬にTV放送する予定ですので、ぜひご覧ください。

優秀作品

なくそういじめ みんな世界で オンリーワン (県立青森第一高等養護学校1年 川原田 祥央)
「キラ」より 友だち「キラ」 みつけよう (五所川原市立東峰小学校2年 山田 りと)
強さとは 人を守れる 思いやり (弘前市立岩木小学校3年 三浦 愛莉)
あいことば 気付く・寄り添う 声かける (十和田市立第一中学校2年 野月 悠生)
「たすけてよ」 心の声に 耳すませ (むつ市立奥内小学校3年 工藤 零士)
画面から とび出す言葉 胸をさす (南部町立名川中学校1年 松本 佳恋)
審査員特別賞
耐えないで あなたは絶対 一人じゃない (青森市立筒井中学校3年 角田 しずく)
こわいよね されてるあの子は もっとこわい (県立鶴田高等学校2年 一戸 絵莉那)
SNS 見えないいじめは すぐそこに (十和田市立切田中学校3年 原 音々)



受賞作品はこちらからご覧ください。

審査員特別賞

過去に制作したCMはこちらから視聴可能です。



問 生涯学習課 企画振興グループ TEL.017-734-9888